

題材名

「豊かな表現を追求！」 ～歌でつなごう西城っ子～

1. 学 年 第6学年 19名 (男子 6名 女子 13名)

2. 教材名 「変わらないもの」 作詞・作曲 山崎朋子

3. 題材の目標

- 歌詞や曲想を生かし、豊かな表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組む。
- 強弱、フレーズ、音楽の縦と横の関係やそれらのかかわり合いを聴き取り、それらが生み出すよさなどを感じ取りながら、歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
- 歌詞の内容や曲の構成を理解し、全体の響きや伴奏を聴きながら、ふさわしい表現で歌うことができる。

4. 学習指導要領との関わり

第5学年及び第6学年

○歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。 【A表現(1)イ】

○各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。 【A表現(1)エ】

[共通事項] (1) ア (ア) 強弱、フレーズ (イ) 音楽の縦と横の関係

5. 評価規準

| ア 音楽への関心・意欲・態度 | イ 音楽表現の創意工夫 | ウ 音楽表現の技能 |
|---|---|--|
| <p>① 歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌う学習や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴きながら、自分の声を友達の声と調和させて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> | <p>① 「変わらないもの」の強弱、フレーズ、音楽の縦と横の関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、歌詞の内容、曲想などを生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えや願い、意図をもっている。</p> <p>② 互いの歌声、主な旋律や副次的な旋律、音の重なりや和声の響き、音楽の縦と横の関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、声を合わせて歌う表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えや願いをもっている。</p> | <p>① 歌詞の内容、曲想を生かした表現で歌ったり、主な旋律や副次的な旋律、全体の響き、伴奏を聴きながら、自分の声を友達の声と調和させて斉唱や合唱をしたりしている。</p> |

6. 題材観・児童観・指導観

(1) 題材観

本題材は、歌詞の内容や曲想を生かして表現を工夫し、思いや意図をもって歌うことをねらいとする。

歌唱教材「変わらないもの」は、感謝の気持ちや未来に向かう気持ちを表した合唱曲である。卒業を控えた6年生にとって、自分たちの心情と歌詞を結びつけ、表現を工夫しやすい教材である。語りかけるように言葉のリズムを生かし、ユニゾンで歌う^ア、二部に分かれて掛け合う^イ、音を重ねてハーモニーをつくりながら盛り上がる^ウの、大きく三つに分かれる。三つの部分それぞれの曲想を感じ取らせやすく、各部分を比較したり関連付けたりすることで、楽曲全体の構成に着目させ、それぞれのよさを生かした表現を工夫することができる。また、言葉の区切りや休符の位置から、特に大切にしたい言葉やフレーズのまとまりを考えることもでき、ブレスの仕方や位置を工夫する必要が生まれる。以上のことから、この曲は、歌詞の内容や曲想を生かし、フレーズや音楽の縦と横の関係に着目させ、表現の工夫を考えることに適した教材であるといえる。

(2) 児童観

本学級の児童は、友達と協働しながら試行錯誤し、創意工夫をして高め合おうとする雰囲気がある。歌うことが好きであり、様々な楽曲を練習し、聴いてもらうことを通して、表現する楽しさを感じ、意欲をもって主体的に取り組むことができる。声量は少ないものの、自然で無理のない響きのある声で歌うことは概ね定着している。1学期には、「語り合おう」という楽曲で「強弱」「旋律」「変化」に着目させ、歌い方の工夫を考えることができた。しかし、合唱の経験が少なく、パートの役割を意識して歌うことが難しいため、声部のバランスや、音が重なって生まれる響きの広がりよさや面白さを感じることができていない。「音楽の縦と横の関係」と関連させて思いや意図をもつことに課題が残る。また、フレーズを意識して、ブレスの仕方や位置を工夫することも難しい。

そこで、曲の特徴を基に、どのように歌うのか思いや意図をもち、友達と協働することで音楽の楽しさを感じながら、自信をもって自分を表現する能力をさらに高めていきたい。

(3) 指導観

この楽曲は、11月の西城っ子祭り（学習発表会）で歌う楽曲である。全校児童でどのように歌うのか6年生が主体となって考え提案することを、題材を貫く課題として設定する。この曲を全校合唱として西城っ子祭りで披露し、お客さんに感動を伝えるためには、どのように歌い、どのように他学年に伝えていくか、自分たちに何ができるかを考えさせ学習の見通しをもたせる。その際、自分たちが9月に練習した全校合唱の音源を聴いて課題を見つけ、よりよくしていくための目的意識をもたせる。

思いや意図をもたせる過程においては、歌詞の朗読を取り入れて言葉の抑揚を捉えたり、作詞者の思いを考えたり、自分が一番好きな部分を見つけ、「このように歌いたい。」とイメージをふくらませたりする。表現の工夫をする場面においては、曲全体の構成をとらえるために、^ア、^イ、^ウの部分に分け、音楽を形づくっている要素を基に曲の特徴を捉えさせる。その際、児童の実態を踏まえ、着目させる音楽を形づくっている要素を「強弱」「フレーズ」「音楽の縦と横の関係」に焦点化し、児童の思いを引き出していきたい。また、比較することで、各部分の特徴に気付かせ、より表現の工夫を追求させたい。さらに、「この部分では、作曲者が何を伝えたかったのだろうか」など、作曲者の思いや意図をくみ取ることを促しながら、音楽のよさを感じ取らせたい。

学習形態としては、児童一人一人が考えをもった後、グループ活動に取り組みせ、お互いの考えを尊重し、歌い試しながら高め合う場を設定する。児童が、多様な考えに触れ、いろいろと歌い試していくことによって、音楽の面白さを感じながら追求することができるようにする。また、ねらいとする音楽的価値に向かって、深まりのある協働的な学びができるように、楽譜ボードに一人一人の考えを書き込んで可視化し、グループや全体で共有できるようにする。グループ活動を充実させるため、役割と話型を示し、聴き役と歌う役で互いに聴き合いながら練習することによって、自分たちの表現を確認しながら進めさせる。全体で歌い方を共有していく場面では、電子黒板で楽譜ボードを提示し、全体で歌い方を確認して歌い試しながら進めていく。

7. 題材の計画（全4時間）

行事との関連（課題発見）



もう少しで、小学校生活最後の西城っ子祭りですね。



西城っ子祭りに向けて、もっと合唱をレベルアップさせたいなあ。

歌い方の工夫を考えて、全校のみんなに提案してみよう。



| 次 | 時 | 主な学習活動 (○) 予想される児童の反応 (・) | 評価規準 (評価方法) |
|-----------|-------|--|--------------------|
| 第一次 (二時間) | 一 | <p>課題の設定</p> <p>○自分たちが9月に練習した全校合唱の音源を聴かせ、課題やこれからの目標をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想の変化はあまり感じられないね。 ・もっと思いが伝わるように歌うにはどうしたらいいのかな。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">西城っ子祭りに向けて、「変わらないもの」の歌い方を全校に提案しよう</p> <p>情報の収集</p> <p>○各パートを歌い、歌詞の内容や曲想を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大切な言葉は何だろう。何が一番伝えたいことかな。 ・各パートの音をきちんと確認しよう。 ・歌詞のまとまりや旋律から、1つのフレーズが考えられるね。 <p>○歌詞の内容や曲想の変化を感じ取りながら、二部合唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イは追いかけてこみたいになっているよ。 ・一緒に歌うところと分かれて歌うところがあるね。 ・お互いのパートの音をよく聴いて歌おう。 ・パートの音がきれいに重なると、音が広がったみたいで素敵だね。 | アー① (行動観察・発言内容) |
| | 二 | <p>整理・分析</p> <p>○児童の思いに寄り添い、児童が一番工夫したい部分から表現の工夫を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番曲が盛りあがるウから考えたいな。 ・言葉の始まりが16分音符になっているところがあるね。勢いが感じられるよ。言葉をはっきりと歌おう。 <p>○アの工夫を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このフレーズは切りたくないから、ブレスは短めにしよう。 ・音がだんだん高くなっているから、気持ちも少し盛り上がるね。少しずつ声が大きくなるね。 | イー①② (ワークシート・演奏聴取) |
| 第二次 (三時間) | 三【本時】 | <p>整理・分析</p> <p>○イの歌詞の内容、曲想を生かした表現の工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「遠く」のところは、遠くから話しかけられているみたいにしたいため、だんだんと大きくなるように歌うといいんじゃないかな。 ・2つ目の「遠く」を少し弱く歌うと、山びこみたいに聞こえるよ。山に向かって歌っているんじゃないかな。 ・一緒に歌っていたところから、パートに分かれることで、広がった感じがするね。 ・ウに向けてだんだんと盛り上がるように、クレシェンドにしたいね。だんだんとエネルギーが高まっていくように、最初はもう少し弱く歌おう。 ・このフレーズは歌詞が一つのまとまりになっているから、ブレスは短めにしよう。 ・アクセントとテヌートがついているところは、自分の決意を主張している感じだね。言葉をひとつひとつ協調して歌いたいな。 | イー①② (ワークシート・演奏聴取) |
| | 四 | <p>まとめ・表現</p> <p>○これまで考えた歌い方の工夫を、より相手に伝わるように練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここはもう少し協調して歌うと、歌詞の大切さが伝わるね。 ・下のパートが聞こえにくいね。バランスを考えて歌おう。 <p>○全校児童にどのように歌うのかを伝えるために、歌い方をまとめる。</p> | ウー① (演奏聴取) |

行事との関連（実行・振り返り）



全校に歌い方の工夫を提案して、見本を見せたことで、全校合唱が変わってきたよね。



西城っ子祭りまでさらに練習して、お客さんに感動を伝えたいな。

8. 本時の指導（3/4時間）

(1) 本時の目標

歌詞の内容や曲想，パートの役割を生かし，歌い方を工夫することができる。

(2) 評価規準

・歌詞の内容，曲想などを生かした表現を工夫し，パートの役割を考えながら，どのように歌うかについて自分の考えや願い，意図をもっている。

(3) 学習の展開

| | 学習内容と学習活動 予想される児童の姿 | 指導上の留意事項 (○) つまずきへの支援 (・) | 評価規準 (評価方法) |
|-----|--|--|------------------------|
| つかむ | <p>1 課題意識をもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習を振り返り全曲を通して歌う。 <p>2 学習課題を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・㊦の歌い方の工夫を考える。 | <p>○㊦と㊧の部分の表現の工夫を振り返り，歌い方の工夫を生かして歌わせる。</p> <p>○題材のゴール，西城っ子祭りに向け，歌い方を全校に提案することを意識させる。</p> | |
| | <p> ㊦と㊧の部分はどんな歌い方の工夫がありましたか？</p> <p> フレーズを意識してブレスを工夫しました。</p> <p> 音が重なって盛り上がる場所は，音量のバランスに気を付けました。</p> | | |
| | <p>○㊦ 曲の特徴を生かして㊦の歌い方を工夫しよう。</p> | | |
| | <p>3 学習の見直しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現を工夫する視点を確認する。 | <p>○歌詞の内容や，音楽を形づくっている要素の中でも，「音楽の縦と横の関係」「強弱」「フレーズ」に着目させ，視点を明確にし，どのような工夫が必要か考えさせる。</p> <p>○「音楽の縦と横の関係」を意識させるため，パートが分れている場合と分かれていない場合を歌って比較させる。</p> <p>・㊦の特徴に気付いていない児童には「音の重なり方は㊦や㊧とどう違うかな？」と働きかけ，特徴の違いから歌い方に結び付けさせる。</p> | 音楽表現の創意工夫（ワークシート・演奏聴取） |

考える

4 歌唱表現の工夫をする。

- ・**㊦**の部分の特徴を捉え、個人→グループで歌い方の工夫を考える。
- ・曲想や旋律に合った表現になっているか、交代で聴き合いながら歌い試し表現を深める。



パートの掛け合いのところは、「遠く」が3つ出てくるから、だんだんと大きくなるように歌うのはどうかな。



「いつか」のところはまた、パートが分れるね。きれいな響きになるように、お互いの音をしっかりと聴いて歌おう。



㊦に向けて、だんだんと盛り上がるように、クレシェンドしたいな。



アクセントとテヌートがついているし、**㊦**の前だから、言葉を一つ一つ強調して歌おう。

5 グループで考えた表現の工夫を交流する。

- 曲想の変化による表現の違いを意識させるため、視点を明確にして聴き合わせる。
- グループで決まらなかった部分は、みんなに歌い試してもらうように促す。



アクセントとテヌートが付いていて、「変わらないもの」があるということをみんなに強く主張したいじゃないかな。だから、力強い声で歌うといいと思います。



「遠く」のところは、後から入る人が少し弱くて、山びこみたいに聞こえました。山に向かって歌っている感じがしました。



㊦に向けてだんだんと盛り上げるために、「いつか」のフレーズから弱く歌っているのがいいと思いました。

練り合う

- ・各グループの表現のよさを聴き比べながら、一つの表現にまとめていく。

・要素の聴き取りが難しい場合には、動作化し要素に着目しやすくさせる。

- グループの考えを電子黒板に映し、歌い試しながら確認していく。



全グループが取り上げている「遠く」のところを考えよう。

6 振り返りをする。



「心の中に」のところは、どのグループも□に向けて盛り上げようとしていたけれど、工夫の仕方が違って、違う感じに聴こえるのが面白いと思いました。ぼくは、自分に言い聞かせるように、力強く歌うことができたので良かったです。



2つ目の「遠く」を少し弱く歌って、追いかけている感じにしたいと思っていただけ、友達の「遠く」の3つがだんだんと大きく聴こえるような歌い方も、追いつかれてどんどん近づいてくる感じがして、友達が呼びにきてくれたのかなと思いました。



今までは、息をしっかりと吸うことだけ考えてプレスをしていただけ、フレーズのまとまりを切らないように意識してプレスを工夫すると、歌詞をしっかりと伝えることができるということが分かりました。



□の部分、一緒に歌ったり、パートに分かれたり、いろんな歌い方があっていろいろな工夫を考えることができました。パートごとに強弱を変えると、聴こえ方が変わるので、きれいに重なるバランスを探せばいいと分かりました。



「景色が変わっても変わらないものがある」のところは、「変わる」と「変わらない」の違いを強調するために、曲のタイトルにもなっている「変わらないもの」のところを少し大きく歌いました。他の曲でも歌詞の内容から工夫してみたいです。

○次時は、曲を通して歌うことで、気付いた工夫や、考えた工夫がより伝わるように練習をしていき、全校に歌い方を伝えるためのポイントをまとめることを確認する。

9. 板書計画

10/19 西城っ子祭りに向けて、「変わらないもの」の歌い方を全校に提案しよう

課題

曲の特徴を生かして□の歌い方を工夫しよう。

Bグループ

【特徴】

- ・強弱
- ・音楽の縦と横の関係
- ・フレーズ

【歌詞】

Aグループ

Cグループ

音楽キーワード